

公明党神奈川県本部の「3.11を忘れない防災・減災プロジェクト」の三浦のぶひろ事務局長と、上田いさむ衆議院議員、佐々木さやか参議院議員らが「災害時あんしんカード」と被災地支援のメッセージ入り缶バッジを配布しました（3月5日、横浜公園で）



東日本大震災から5年

公明党神奈川県本部の

「3.11を忘れない防災・減災プロジェクト」が特設ブース

東日本大震災から5年の節目を迎えた本年3月、横浜市内で「3・11を忘れない」イベント（同実行委員会主催、神奈川県共催）が開催されました。

災害への意識啓発を目的としたこの行事には、公明党神奈川県本部の「3・11を忘れない防災・減災プロジェクト」が特設ブースを出展。同プロジェクトの事務局長を務める三浦のぶひろ党国際局次長・青年局次長（第24回参議院議員選挙・神奈川選挙区予定候補者）は、上田いさむ衆議院議員、佐々木さやか参議院議員らとともに、被災地復興のパネル展示やビデオ上映、党県本部作成の「災害時あんしんカード」等の配布を行い、さらなる復興支援の重要性を訴えました。

本年2月には、上田・佐々木両議員と三浦のぶひろ事務局長が、被災地の福島県、宮城県へ。福島第一原発事故による除染作業の現場視察や、今も多くの被災者が避難生活を送る仮設住宅での聞き取り調査を行いました。

党県本部は、東北地方出身の佐々木さやか参議院議員と三浦のぶひろ事務局長を先頭に、生活拠点や

インフラ整備の加速化をはじめ、被災地域の産業復興、そして高齢者や長期避難者の方々の心のケア、コミュニティづくりなど、最も大切な「心の復興」の支援に全力で取り組んでいきます。

「災害協定」が締結

本年2月、逗子市と神奈川県隊友会横須賀支部が「大規模災害時等における隊友会の支援協力に関する協定」を締結しました。退職自衛隊員等で組織される隊友会の同支部が、地方自治体と災害協定を締結したのは、横須賀市、葉山町、鎌倉市に続いて4例目となります。

逗子市との協定は、防衛大学の准教授であった公明党の三浦のぶひろ国際局次長・青年局次長の提案によって速やかに結ばれたもので、退職自衛隊員が現役時代に培った貴重な経験を地域防災に役立てる取り組みです。

今後、万が一、大規模災害が発生した折には、市内の被災状況を迅速かつ的確に収集できることが期待され、市の災害応急対策の実行に大きく寄与します。

党県本部は、この災害協定の拡大にも取り組みます。

自公政権に
最先端のチカラ

2016年夏の参院選に挑戦する予定候補者【公明党公認・自民党推薦】

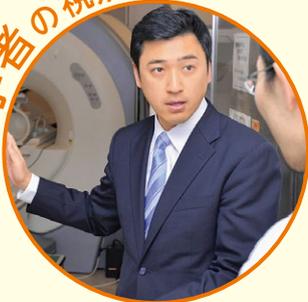
KOMEITO
公明党

三浦のぶひろ

暮らしと経済をパワーアップ

3つの視点で三浦が挑む!

科学者の視点



蓄積された技術力を結集し
世界で勝てる日本に!

新しい産業と雇用の創出で
景気経済の好循環を!

最先端のがん治療を促進し
健康長寿の国をつくる!

教育者の視点



「子どもの貧困」解消へ
ひとり親家庭を守る!

若者の学ぶ意欲を伸ばす
奨学金制度を一段と拡充!

地域の未来を担う青少年の
薬物乱用をストップ!

生活者の視点



不妊治療の助成、
幼児教育無償化をさらに推進!

若者雇用の安定へ
中小企業の人材採用を促進!

働く女性が子育てや介護と
仕事を両立できる環境づくり!

三浦のぶひろは金属工学のエキスパート。世界で初めて金属寿命のメカニズムをミクロの次元から解明。科学者の眼で政治課題の本質を鋭く見抜き、景気経済の好循環、先進医療の進展、省エネ対策の促進、震災復興の加速を「科学技術の進化」で成し遂げます。

三浦のぶひろは親元を離れて暮らす将来の幹部自衛官の育成に携わり、多くの学生たちと寝食を共にしました。10代や20代の青少年と本気で語り合った18年間。その経験こそ三浦の財産です。どこまでも若者の可能性を信じ、「子どもの幸福が第一」の社会を築きます。

三浦のぶひろは働き盛りの41歳。時には義父母の手も借りながら、夫婦で小学生の子育てに奮闘中です。同じ生活者の不安や悩みが分かるからこそ、若者雇用の安定や賃金アップ、働く女性の環境と待遇の改善、高齢者や主婦の健康増進などに全力で汗を流します。

元気な日本は
神奈川から!

「特区」の推進で経済を活性化

「京浜臨海部
ライフイノベーション国際戦略総合特区」

iPS細胞を活用した再生・細胞医療やナノ医療
イノベーション等の最先端医療を創出

「さがみロボット産業特区」

災害救助や介護、農工業の生産現場で活躍する
ロボットの開発・実用化へ財政支援を強化

「国家戦略特区」

未病に関わる最先端の製品・サービスを神奈川に
結集し、新しい産業と市場の創出を促進

魅力が光る観光地づくり

2020年、東京オリンピックのセーリング競技が江の島で開催されることを受け、ヨットなどマリンスポーツの振興を図り、湘南・三浦半島地域が一級のビーチリゾートになるよう支援します。

スマートエネルギー社会を創出

火力発電所の効率化を図り、電力の安定・安全供給を推進します。さらに、FCV(燃料電池自動車)の普及やスマートコミュニティの形成など神奈川発のエネルギー革命を全力で支援します。

神奈川の農林水産業に活力

県内における営農基盤の強化や県の特性を生かした農業振興計画づくりを推進します。さらに、県産木材の活用、持続可能な漁業生産、担い手不足の解消などにも真剣に取り組めます。



メルマガ登録

join@miura-nobuhiro.com



三浦のぶひろ 1975年3月5日生まれ。横浜市港南区在住。宮城県仙台市出身。福島県立福島高校、千葉工業大学を卒業後、防衛大学校の機械システム工学科助手に。2003年には東京工業大学で工学の博士号を取得。4年おきに開催される先進発電機器材料の国際会議(EU主催)で、最も優れた発表者に贈られる「ベストポスター賞」を連続受賞(02年、06年)。日本人初の快挙となった。2012年、防衛大学校で最年少の准教授に就任。家族は妻と娘と愛犬。



動画を視聴

三浦のぶひろショートムービー